



奈良県感染症情報

令和2年第44週(10月26日～11月1日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.85	(1.24)	↗	↗	↗	↗
2	ヘルパンギーナ	0.79	(0.88)	→	→	→	↑
3	突発性発しん	0.53	(0.44)	↗	↗	↗	→
4	A群溶連菌咽頭炎	0.26	(0.38)	↘	↘	→	↑↑
5	水痘	0.24	(0.29)	→	↗	↓	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

県内飲食店における新型コロナウイルス感染症クラスター事案の発生がありました。クラスター発生要因として、閉鎖空間、マスクなしでのカラオケ等により、感染が拡大したと推定されます。他府県でも、日中カラオケスナックやカラオケ喫茶などでカラオケを楽しむ「昼カラ」に関連した新型コロナウイルス感染症クラスターが複数確認されています。昼カラは、店舗の騒音対策で換気が難しく、密閉、密集、密接の3密が揃いやすく、重症化しやすい高齢者の利用が多いという特徴があります。より安全に昼カラ店を利用するためには、体調不良時には利用しないこと、店内ではマスクを着用し、なるべく短時間の利用に留めること、感染拡大予防ガイドラインを遵守していない店舗の利用は、控えましょう。

10月29日、新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況とこれまでに得られた科学的知見について、厚生労働省が新たに10の知識としてとりまとめました。新型コロナウイルス感染症の発生をさらに抑えるためには、1人ひとりが最新の知識を身につけて正しく対策を行っていただくことが何よりも重要です。ぜひご参照ください。「(10月時点)新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識」

(<https://www.mhlw.go.jp/content/000689773.pdf>)

♣ 小児科外来情報 ♣

北部地区(田中小児科医院)

熱性痙攣を起こしたヘルパンギーナと思える患児が続いてあった。

流行とは言えないが水痘がまだ続いています。

下痢症状が続く乳幼児が目につく。

インフルエンザ症状の患児はまだない。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

短期の発熱患者があるがインフルエンザはまだない。

下痢、嘔吐の感染性腸炎が小流行、熱はないが、隔離のうえ診察。

水痘、ヘルパンギーナなど他の登録感染症はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヘルパンギーナの小流行は継続している。

呼吸器感染症は増加、症状は軽いも遷延傾向がある。

ノロウイルスの流行はまだない。

A型インフルエンザの発生があるも、ワクチン接種の効果か軽症に経過した。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面1 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気が興奮すると発汗により注意力が低下する。
- また、意識が朦朧し、次第に気が散る。
- 特に個室などで閉鎖されている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、同じ飲み物や箸などの共用が感染のリスクを高める。

場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、待合を伴う飲食、深夜のほろ酔いなどでは、発汗の多い状態になり、感染リスクが高まる。
- 大人数、長時間にわたる飲食では、大気中にウイルスが滞留しやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面3 マスクなしでの会話

- マスクなしでの会話で会話することで、飛沫感染やマイクロ粒子感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの会話としては、カラオケなどでの事例が報告されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。

場面4 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたる閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 狭い空間やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面5 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、空気中のウイルスの濃化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が報告されている。

厚生労働省 HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunit/suite/bunya/0000164708_00001.html

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

